

血液内科

レジメン名称 : 【初回】 Pola+BR療法

レジメン説明 : 対象疾患 : 再発難治性DLBCL

適用条件 : 対象疾患 : 再発難治性DLBCL

除外条件 :

使用する抗がん剤:

RP	手技	薬剤名称	標準値	上限値
03	点滴静注(末梢)	危)リツキシマブ 注BS(100, 500mg)	375mg/m2	450mg/m2
05	点滴静注(末梢)	危) ポラ化 <sup>レ</sup> -点滴静注30mg, 140mg	1.8mg/kg	1.98mg/kg
08	点滴静注(末梢)	ベンダ <sup>ム</sup> スフィン注25mg/1mL「ト-7」	90mg/m2	99mg/m2

RP	手技	薬剤名称	用量/単位	Day1	Day2	Day3				
01	点滴静注(末梢)	アセリオ静注液1000mgバッグ ポララミン注 5mg 療法名: 【初回】 Pola+BR療法 点滴静注(末梢): *点滴時間 15分で 投与経路:末梢ルートメイン1	0.5袋 1A	10:00						
02	点滴静注(末梢)	【ケモ専用】大塚生食注 (50mL 袋) 療法名: 【初回】 Pola+BR療法 点滴静注(末梢): *点滴時間 15分で 投与経路:末梢ルートメイン1	1瓶	10:15						
03	点滴静注(末梢)	危)リツキシマブ 注BS(100, 500mg) 【自動計算】生理食塩液 療法名: 【初回】 Pola+BR療法 点滴静注(末梢): *点滴速度 50ml/h 投与経路:末梢ルートメイン1	0mg 337.5mL	10:30						
04	点滴静注(末梢)	【ケモ専用】大塚生食注 (50mL 袋) 療法名: 【初回】 Pola+BR療法 点滴静注(末梢): *点滴時間 15分で 投与経路:末梢ルートメイン1	1瓶	13:30						
05	点滴静注(末梢) <次ページあり>	危) ポラ化 <sup>レ</sup> -点滴静注30mg, 140mg 生理食塩液「ヒカリ」 (100mLブ <sup>ラ</sup> )	0mg 1瓶		10:00					

血液内科

レジメン名称 : 【初回】 Pola+BR療法

RP	手技	薬剤名称	用量/単位	Day1	Day2	Day3				
		療法名:【初回】Pola+BR療法 点滴静注(末梢): *点滴時間 90分で 投与経路:末梢ルートメイン1 フィルターを通す								
06	点滴静注(末梢)	【ケモ専用】大塚生食注(50mL 袋) 療法名:【初回】Pola+BR療法 点滴静注(末梢): *点滴時間 15分で 投与経路:末梢ルートメイン1	1瓶		11:30					
07	点滴静注(末梢)	グラセトン静注液1mg/20mL「サワ」 デキスト注射液(6.6mg/2mL)[先;デキスト] 【ケモ専用】大塚生食注(50mL 袋) 療法名:【初回】Pola+BR療法 点滴静注(末梢): *点滴時間 15分で 投与経路:末梢ルートメイン1	1筒 1瓶 1瓶		11:45	10:00				
08	点滴静注(末梢)	ベンダムスチン注25mg/1mL「トワ」 大塚生食注(250mL) 療法名:【初回】Pola+BR療法 点滴静注(末梢): *点滴時間 1時間で 投与経路:末梢ルートメイン1	0mg 1袋		12:00	10:15				
09	点滴静注(末梢)	【ケモ専用】大塚生食注(50mL 袋) 療法名:【初回】Pola+BR療法 点滴静注(末梢): *点滴時間 15分で 投与経路:末梢ルートメイン1	1瓶		13:00					
10	点滴静注(末梢)	【ケモ専用】大塚生食注(50mL 袋) 療法名:【初回】Pola+BR療法 点滴静注(末梢): *点滴時間 15分で 投与経路:末梢ルートメイン1	1瓶			11:15				
01	処方 <次ページあり>	d-クロルフェニラミン徐放錠6mg(武田テバ)	1錠		●					

インターバル日数 : 21 日 基準日 : Day 1

最大クール数 : 6クール

血液内科

レジメン名称 : 【初回】Pola+BR療法

RP	手技	薬剤名称	用量/単位	Day1	Day2	Day3				
		カロナール錠 200mg 分1 (1日1回) 1日分 ※ポラビ`-投与30分前に服用	2錠							

RP	オーダーコメント
03	Rフィルター禁 初回投与中・必要時は心電図装着 初回, 最初30分は50mL/h, その後30分毎に50mL/hずつ上げ, 最大400mL/hまで可. 2回目以降, 100mL/hで開始. その後30分毎に100mL/hずつ上げ, 最大400mL/hまで可 IRの場合, ①R中断②ヒド`ロコルゾ`ン100mg+生食50mL点滴③症状改善後, 症状発現の速度より一段点滴速度を下げR点滴再開④再び症状が発現した場合①から③を繰り返す 投与後30分以上観察
05	★ポラビ`-投与30分前にコルフェラミン1錠、カロナール錠200mg2錠服用する ★ポラビ`-投与後30分以上、経過観察を行う ★0.2又は0.22µmインラインフィルターを使用
08	★1時間かけて投与する際は生食250mLを使用。 ★10分で投与することも可能。 【注意点】10分投与の際は、生食50mLに混注して投与を行うこと。生食250mLは× ★調製後は、加水分解により急速に安定性が低下するため、6時間以内に投与を終了する。